

原子力防災対策について（その5）

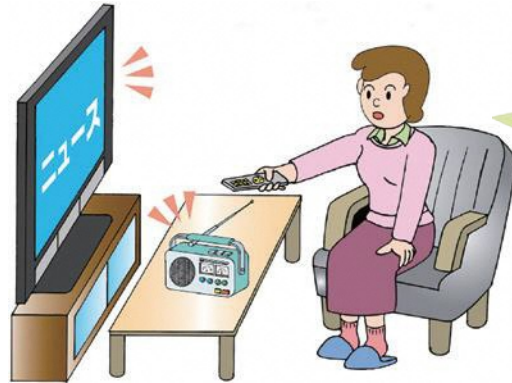
◆原子力災害時の広報体制◆

○原子力災害が発生したときには、村（役場）などが防災行政用無線、広報車、IP告知端末、携帯電話へのエリアメール、ホームページ、LINE、テレビ、ラジオなどのあらゆる手段を用いて、繰り返し広報を行います。

○村などの広報をよく聞き、指示に従って落ち着いて行動してください。



防災行政用無線・広報車・IP告知端末などにより情報をお伝えします。



テレビ・ラジオのスイッチを入れ正確な情報をつかみましょう。

〈問合せ先〉原子力対策課
☎（直通）33-2268

【HP】「東通村と原子力」
(<http://www.atom-higashidoori.jp/>)



今日の『ひがしどおり小話』

No.6 村にインターンシップで学生さん！

村では、8月7日～10日までの4日間で大学生のインターンシップ実習を行いました。

インターンシップ実習を体験したのは、東通村出身（白糠地区）で、現在は宮城県の大学に通う伊勢田柚（ゆい）さん。広報紙に興味があるということで、広報担当者と一緒に行動しました。

業務内容は、広報担当として職員にインタビューをして、新コーナーを作成すること。また、様々な業務を通して東通村・行政の仕事内容についての理解を深めることでした。

8月7日は、庁舎内の各課を回り、どのような業務をしているのかを説明してもらいました。役場内には14課・3事務局・1室あり、覚えるのに一苦労している様子でした。

それ以外にも、協定締結式のお手伝いや9の付く日で串焼きを担当したりと、様々な体験を通して一部ではありますが、行政の仕事について理解を深めてもらったのではないのでしょうか。

柚（ゆい）さんが作成した新コーナー【おしえて！東通村のおしごと♪】は、別ページでご覧いただけます。緊張しながらも、頑張ってインタビューしていた成果が表れていると思いますので、お楽しみに！！



職員にインタビューする伊勢田柚（ゆい）さん

沢山買ってくれました♪

柚（ゆい）さんのお母さん👵が応援に！？